

JAJA フットボールアカデミー

『Heads Up Football 体験会』を実施いたしました



日本アメリカンフットボール協会（JAJA）は、2月28日に大阪、3月1日に東京で『JAJA フットボールアカデミー Heads Up Football 体験会』を開催いたしました。

選手の安全確保はアメリカ合衆国においても重要な課題となっており、頭部外傷と頸部外傷の予防のためにアメリカンフットボールにおけるタックリングの方法が大きく変わろうとしています。JAJA は、USA Football が中心になってアメリカ国内で取り組んでいる Heads Up Football のプログラムを日本で紹介し、選手の安全確保を目指していきます。

はじめに Heads Up Football の中心的な推進者である USA Football のスコット・ハレンバック氏がこのプログラム導入の背景やその実績について紹介し、続いて現役高校コーチのテリー・サマーフィールド氏が Heads Up Tackling・Heads Up Blocking の実際の指導方法の講義を行いました。続いてフィールドに移動し全参加者に Heads Up Football の実技指導を行い、多くの参加者がその指導方法を体験しました。

大学、社会人、高校の指導者を中心にメディカルスタッフ、協会関係者など大阪会場で43名、東京会場では128名が出席し、とても有意義な体験会となりました。



スコット・ハレンバック氏と通訳を務めた金氏 JAJA 専務理事



テリー・サマーフィールド氏と HUF マスターコーチ山田 JAJA 強化育成委員



フィールドでの練習後は「栄養講習」。カレッジキャンプ同様、株式会社明治にご協力いただき、「世界で戦えるフットボール選手のための食事と栄養」をテーマに食事の大切さ、栄養補給のタイミングなどを管理栄養士岩切佳子先生に講義頂きました。



続いて朝倉全紀ストレングスコーチ（LIXIL）から Heads Up Football をテーマにストレングス強化の重要性について、レクチャーが行われ、内容の濃い1日となりました。

